土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

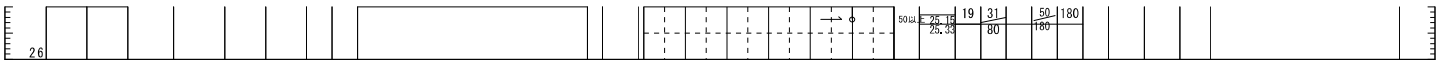
調査名 第二種漁港 音戸漁港 港整備交付金事業に伴う業務委託(鰯浜地区)

事業・工事名

調査目的及び調査対象 海岸・海洋　構造物基礎

ボーリング名	R2-Bor.No.4	調査位置	広島県呉市音戸町北隠渡	北緯	34° 11' 27.0433"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和2年 4月 2日～ 令和2年 4月13日	東経	132° 32' 00.3577"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	DL 0.06m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	25.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1-B / エンジン：ヤンマーNFD-13K / ポンプ：東邦製BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位/測定月日	深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1									中～粗砂主体。φ2～10mmの礫を全体に含む。maxφ15mm。GL-2.00m, 4.00m付近貝殻片若干混入。			1	1.15	1			1/300						
													1.45											
2						暗灰				4/7 2.55		1	2.15	1			1/300							
													2.45											
3										4/8 3.30		2	3.15	1	1		2/300			3.15	P4-1	⊖	物理一式	
													3.45	150	150					3.45				
4												5	4.15	2	1	2	5/300							
													4.45											
5				礫混じり砂		～	rd1					5	5.15	1	2	2	5/300							4/2
													5.45											
6												4	6.15	1	1	2	4/300							
													6.45											
7						淡茶灰						5	7.15	1	2	2	5/300							
													7.45											
8												6	8.15	2	2	2	6/300			8.15	P4-2	⊖	物理一式	
													8.45							8.45				
9												5	9.15	3	1	1	5/300							
		-9.64	9.70										9.45											
10									中～粗砂主体で，全体にシルト分を10～20%程度含む。GL-10.00m付近，10～20%の粘土を含有し，砂分も細～中砂主体である。			1	10.15	1			1/300			10.00	T4-1	①	物理一式 一軸 簡易三軸CU 圧密	
													10.45	300						10.65				
11												4	11.15	1	2	1	4/300			11.50	T4-2	①	物理一式 一軸 簡易三軸CU	
													11.45							12.00				
12				シルト混じり砂		暗灰	rd1					3	12.15	1	1	1	3/300							
													12.45											
13												6	13.15	2	2	2	6/300							
		-13.64	13.70										13.45											
14									中～細砂主体。φ2～5mmの小礫を全体に少量含む。GL-17.00m以深，局所的に粘土分とφ3～10mmの亜角礫を含有する。			11	14.15	3	3	5	11/300							4/6
													14.45											
15						淡褐灰						18	15.15	4	5	9	18/300			15.15	P4-3	⊖	物理一式	
													15.45							15.45				
16						～	rd3					22	16.15	5	8	9	22/300							
													16.45											
17				砂								14	17.15	4	5	5	14/300							
						暗褐灰							17.45											
18		-17.94	18.00									20	18.15	5	8	7	20/300			18.15	P4-4	⊖	物理一式	
									中～粗砂主体。局所的に細粒分を10～20%程度含有する箇所がある。				18.45							18.45				
19												21	19.15	4	8	9	21/300							
													19.45											
20						淡灰	rd3					37	20.15	6	7	24	37/300							
													20.45											
21												7	21.15	2	3	2	7/300							4/7
													21.45											
22		-21.94	22.00									48	22.15	13	16	19	48/300			22.15	P4-5	⊖	物理一式	
				強風化花崗岩		青灰			花崗岩が強風化したマサ土。局所的に細粒分を10～20%程度含有する箇所がある。				22.45							22.45				
23		-22.94	23.00										22.45											
													23.15	14	19	17	50/240	240						
									マサ状を呈し岩質がはっきり確認できる。上層より締まっている。			50以上	23.39			40								
24				風化花崗岩		青灰～淡黄茶							24.15	17	31	2	50/210	210						
												50以上	24.36			10								
25		-24.94	25.00																					4


26
50以上
25.15
25.33
19
31
80
50
180
160